

牛久市教育委員会 9月定例会会議録

1. 日 時 平成27年9月14日(月)午後1時30分
2. 場 所 市役所分庁舎 第1会議室
3. 出席委員 後藤 雅宣・石井 美知夫・宮原 節子・芦田 亜里香・染谷 郁夫
4. 委員以外
の出席者 教育部長 川井 聡
次長 中澤 勇仁
教育総務課 課長 川真田 英行
指導課 課長 村松 美一
児童クラブ課 課長 山岡 勉
文化芸術課 課長 手賀 幸雄
生涯学習推進室 室長 田中 雅司
中央図書館 館長 栗山 雄一
教育総務課 課長補佐 富田 真幸
教育総務課 課長補佐 戸塚 美幸
第一幼稚園 園長 中村 恵子
文化芸術課 課長補佐 横瀬 幸子
生涯学習推進室 室長補佐 山越 義弘
スポーツ推進課 課長補佐 高橋 頼輝
5. 欠 席 スポーツ推進課 課長 木村 光裕
指導課 課長補佐 山口 明
スポーツ推進課 課長補佐 飯島 美博
6. 会議録署名人 教育委員 宮原 節子
7. 議 題 選挙第 1号 委員長の選挙について
議案第46号 委員長職務代理者の指定について
議案第44号 うしく放課後カップ塾推進事業実施規則の制定について(継続審議)
議案第45号 うしく土曜カップ塾推進事業実施規則の制定について(継続審議)
議案第47号 牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
8. 協議事項 少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業について

後藤委員長	(あ い さ つ)
	開会を宣言する。 会議録署名人 宮原 節子 委員を指名する。
後藤委員長	選挙第1号 「委員長選挙について」事務局より説明をお願いします。なお、

教育総務課長	<p>委員長選挙のため、これからの議事進行については教育総務課長にお願いします。</p> <p>それでは、委員長が選出されるまで議事進行をさせていただきます。</p> <p>選挙第1号 「委員長選挙について」 ご説明いたします。</p> <p>まず、委員長の任期及び選挙方法につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律附則第2条により改正前の地方教育行政の組織及び運営に関する法律が適用されます。また、牛久市教育委員会会議規則につきましても経過措置として、改正前の牛久市教育委員会会議規則が適用されます。</p> <p>次に後藤委員長の任期についてですが、平成27年9月30日までとなっておりますが牛久市教育委員会会議規則第5条1項により「委員長の任期満了前に次期委員長の選挙を行うことを妨げない」となっておりますので、今回選挙を行うものです。</p> <p>選挙の方法については、同規則第5条2項により「指名推薦の方法によって行う」となっており、また、同3項により「委員長の選挙が前項の方法によって行われ難いときは、記名又は無記名投票の方法によって行う」となっております。</p> <p>新しい任期につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条2項により平成27年10月1日から平成28年9月30日までの1年になります。</p>
教育総務課長	<p>牛久市教育委員会会議規則第5条2項により委員長選挙については、まず「指名推薦」により行いたいと思います。</p>
教育総務課長	<p>それでは、委員長の「指名推薦」をお願いします。</p> <p>後藤委員を推薦する声有り。</p> <p>他に推薦が無かったため、後藤委員を委員長とすることについて挙手を行う。</p> <p>全員異議なし。</p> <p>後藤委員が委員長に決定。</p> <p>後藤委員長あいさつ</p>

教育総務課長	<p>それでは、委員長が決定しましたので、後藤委員長に議事進行をお願いしたいと思います。</p>
後藤委員長	<p>それでは議事を進めます。</p> <p>議案第46号 「委員長の職務代理者の指定について」事務局の説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>委員長職務代理者の指定につきましても、「委員長選挙について」でご説明しましたとおり、改正前の地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び改正前の牛久市教育委員会会議規則が適用されます。</p> <p>委員長職務代理者の指定につきましては、同法第12条第4項の規定により行うものです。</p> <p>指定の方法については、同規則第5条2項により委員長選出の規定を準用するとなっております。従いまして、まず、「指名推薦」の方法で行い、「指名推薦」の方法で行われ難いときは、「投票」の方法で行うこととなります。</p>
後藤委員長	<p>委員長職務代理者の指定については、「指名推薦」で行いたいと思います。</p> <p>それでは、「指名推薦」をお願いします。</p> <p>石井委員を推薦する声有り。</p> <p>他に推薦が無かったため、石井委員を委員長職務代理者とするについて挙手を行う。</p> <p style="text-align: center;">全員異議なし。</p> <p style="text-align: center;">石井委員が委員長職務代理者に決定。</p> <p style="text-align: center;">石井職務代理者あいさつ</p>
後藤委員長	<p>続いて、前回からの継続審議となっている議案第44号「うしく放課後カップ塾推進事業実施規則の制定について」、事務局より説明をお願いします。</p>

<p>児童クラブ課長</p>	<p>この議案につきましては、先月の定例会で審議をしていただきましたが、一部修正がございましたので、継続審議とさせていただきます。修正したものを改めて説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。仲澤社会教育主事のほうから説明いたします。</p>
<p>仲澤社会教育主事</p>	<p>議案の第44号の継続審議で、前回ご指導いただいたところ、第4条のところを適宜修正いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いたします。以上です。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>前回は修正の可能性のある箇所をご指摘していただきまして、それについてそれぞれ委員の皆様にお確かめいただきたいと思いますが、石井委員、いかがでしょうか。</p>
<p>石井職務代理者</p>	<p>前回の委員会で、特に指摘されたのは、この中だと第4条の定義といったことの意味だと思います。今回は、1教室当たりという言葉が入っているので、その点では了解できるかなと思っています。 それから、コーディネーター等の放課後学習指導員がどういったものかといったものも定義がなされているというところで、ここも改善されていると思います。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>宮原委員はどうでしょうか。</p>
<p>宮原委員</p>	<p>修正されていますので良いと思います。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>芦田委員のほうはどうでしょうか。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>はい、大丈夫です。 議案第44号についての質疑を受けるが質疑なし。 出席委員全員の賛成を得る。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>続いて、同じく前回からの継続審議となっている議案第45号「うしく土曜カップ塾推進事業実施規則の制定について」、事務局より説明をお願いします。</p>

児童クラブ課長	<p>この議案につきましても、一部修正をさせていただきましたので、改めまして説明をさせていただきます。よろしくお願いします。</p>
仲澤社会教育主事	<p>それでは、議案第45号についてご説明申し上げます。</p> <p>こちらのほうも、前回ご指導いただきまして、第7条及び土曜教育推進員と土曜教育サポーターについての考え方ということで、第8条、この点を修正いたしました。あと、授業の参加費が、教材費等の実費についてはいただいている部分もありますので、それを追加で記入させていただきました。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
後藤委員長	<p>それでは、お気づきの点等ございましたらお願いいたします。</p>
芦田委員	<p>第6条ですが、ただし書きがありますが、この授業の対象者は、基本的には通学する小学校、ほかの学校をまたいでということはないですよ。（「はい」の声あり）ただ、要するにここに書いてあるように、教育委員会がよしとすれば、違う学校に行って受けることも可能であるということですか。そうなりますよね。</p>
後藤委員長	<p>それでよろしいですか。（「はい、わかりました」の声あり） ほかにございませんか。</p> <p>議案第45号について出席委員全員の賛成を得る。</p>
後藤委員長	<p>続いて、議案第47号「牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。</p>
指導課長	<p>議案第47号であります。牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会委員の委嘱について、委員会の同意を求めるものでございます。</p> <p>こちらは、牛久市教育委員会いじめ問題専門委員会設置規則に基づきまして、専門委員の任命または委嘱に関する事項でございます。資料のほうに、9名の名簿があるかと思いますので、ご覧ください。</p> <p>規則の中では、茨城県警察の職員、児童相談所の職員、地方法務局の職員、牛久市の職員、その他教育委員会が必要と認める者の中から任命または委嘱となっておりますので、こちらであらかじめこういった案を作らせていただきました。牛久市教育委員会の職員としまして、中澤勇仁教育委員会次長、同じく教育委員会指導課長村松、私になります。牛久市役所の職員といたしまして、</p>

	<p>社会福祉課の大里真紀課長、こども家庭課の川真田智子課長、4名が牛久市の職員。また、児童相談所の職員といたしまして、土浦児童相談所次長兼相談課長の川和幸夫様、地方法務局から、水戸地方法務局龍ヶ崎支局総務係長本田希紗美様、茨城県警察から、牛久警察署生活安全課長高島茂之様、この3名につきましては、それぞれの部署へ山口補佐と私のほうで出向きまして、それぞれ署長、局長と懇談をして趣旨をお話させていただいて、適任者を推薦をお願いしたいという話をしましたところ、この方々のご推薦が各部署からございましたので、名前を使わせていただいております。また、その他教育委員が必要と認める者ということで、それぞれ臨床心理士、社会福祉士というところからということで、筑波大学人間系特任助教授関口雄一様、社会福祉士として、社会福祉会スクールソーシャルワーカー福島恵美様、こちらのほうを考えてございます。この2人につきましては、それぞれの部署に相談をいたしまして、推薦をいただいています。関口様に関しましては、筑波大学でいじめの研究をしている若手研究者ということで、以前、きぼうの広場に勤務した経験があるということで、牛久市に関する理解もいただけると。また、つくば市在住でございます。それから、福島様に関しましては、茨城県社会福祉会にスクールソーシャルワーカーとして学校現場で実務をされている方の中から推薦をお願いしたいということで、こちらの方のご推薦をいただきました。笠間市の在住でございます。</p> <p>以上よろしくお願いたします。</p>
後藤委員長	<p>8番、9番の選出区分の表現ですけれども、その他教育委員が必要と認める者がありますが、教育委員会が必要と認める者としたほうが、個人ではなく組織としてということのほうが良いと思います。</p>
指導課長	<p>はい、わかりました。教育委員会が、に訂正をいたします。</p> <p>議案第47号についての質疑を受けるが質疑なし。 出席委員全員の賛成を得る。</p>
後藤委員長	<p>続いて、協議事項に移ります。</p> <p>少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業について、事務局より説明をお願いします。</p>
教育次長	<p>本日協議事項として、少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業につきまして、前回の教育委員会でも配らせていただいたんですが、図</p>

をまず、見ていただきたいと思います。

このA4横の図の右下、これは文部科学省で実際執り行っていますこの事業なのですが、今回文部科学省では2つ事業を設定いたしております。1つが、魅力的な学校統廃合事例、もう1つ、右側が小規模校を存続させる場合の教育環境の充実事例ということで、2つのこれは委託事業になります。国が各全国の自治体に、こういったものを実際に事例として委託を受けて事業をやって、その成果を国に報告をするという、そういった事業になります。

牛久市ですが、この2番、小規模校を存続させる場合の教育環境の充実事例ということで、全国の6市町村のうちの1つとして前回選ばれました。現在、文部科学省の初等中等教育局というところと、その申請についての中身を再度、調整をしております、10月には正式に委託契約をする運びとなる予定でございます。

資料としては今お手元にはお配りしていませんが、内容としまして今申請しているものとして、奥野学園構想という構想で進めてはいるんですが、まず英語、国際理解教育の推進、それからESD、これは持続可能な教育ということで、環境教育ということで、これはアサザ基金と連携した事業、それから放課後学習の推進ということで、放課後カップ塾、土曜カップ塾こちらを3つの柱として今回内容的には申請をしております。

今回、教育委員会にぜひお話を、協議をしていただきたいと思いますことがありまして、それはこの少子化・人口減少の推進事業を行う上に当たって文部科学省と確認したところ、やはり小規模特認校の設置というのは教育委員会で協議をしていただきたいと思いますということでしたので、今回資料の2枚目に教育委員の方の資料には附箋を貼ってあると思うんですが、3つの市の事例を載せてあります。こちらの説明をさせていただきたいと思います。

まず、先頭黄色い附箋の貼ってあるのが足利市でございます。足利市につきましては、小規模特認校制度というのを既に設けておりまして、第一中学校、富田中学校、愛宕台中学校、この3つの中学校について小規模特認校ということで、市内のどの区域からでもその学校に通学できるというような制度でございます。

こちらの足利市の場合の特徴といたしましては、裏面にあります土曜授業を原則月2回実施していたり、やはり学校紹介等を見ますと、少人数指導を進めて分かる授業の実施、あとは教科学習、部活動において地域の教育力を生かす活動の展開というような、あとは英会話、こういった生徒の育成を目指すというような、やはりそういった特色を打ち出して生徒の募集を行っているということでございます。

引き続きまして、ピンクの附箋の2件目です。こちらは宇都宮市になります。宇都宮市の場合には、小学校なのですが、この2つの小学校でそれぞれやはり特色ある活動をして、子供たちを募集しているということになります。学校としましては、やはり個性を伸ばし確かな学力を身につける少人数指導、そういったものが重点的に行われ、もう1点としまして、人や伝統、自然環境と触れ

合うような活動、縦割り班活動、地域の自然環境や文化的・社会的な学習素材の教材化を図って、人々と触れ合う学習活動を充実させるなど、そういったものの特徴を実施しておりまして、やはりこちらでも英会話の授業を実施する、あるいは自然の活動を実施するといった形で子供たちの募集を行っております。また、こちらでは放課後の活動を充実するという事で、やはり牛久市でも実施しておりますけれども、カップ塾のような内容の授業も行っております。

最後の3ページ目が、こちらは千葉県の流山市になるんですが、こちらにつきましては、中学校で実施をしておりまして、こちらもやはり2つの中学校で実施をしておりまして、内容的にはやはり少人数を生かした数学や英語のティームティーチング、そういったものが主なものとなっております。

いずれの3校とも、学校への通学は原則として自力の徒歩または自転車、公共交通機関ということで、登下校の安全については保護者が責任を持つというふうになっております。以前、教育委員会でご紹介したときに、バス通学というのをちょっと視野に入れたというお話をさせていただいたんですが、バスをやっているところは余り事例がなかったということでございます。やはり、保護者が送迎をしているところがほとんどであるということでございます。

今回協議していただくというのは、こういったものを教育委員会として今後どのぐらいのスパンでこの小規模特認校を、目標としてはいつごろまでにその小規模特認校の制度を取り入れて、実際牛久市として、奥野地区が今、非常に少ない数になっておりますので、その辺につきまして今日といわず継続的にご意見の交換をしていただければなと思ひまして、協議事項とさせていただきます。よろしくお願ひします。

後藤委員長

これは、文部科学省の補助事業として全国6市町村の中の一つに入って、その成果については今後、報告義務があるということですか。

教育次長

今回の委託事業につきましては、1年ごとを区切ってはいるのですが、文科省としては3年を見ておりまして、今年は半年、あと2年は継続して実施していくということなんですが、報告自体は単年度に報告するという、委託も毎年契約を結ぶということで、今年これから始める事業、10月からなんですが、3月までに報告をして、その結果を見て来年度また継続して委託をするかどうかを判断していただきます。いずれにしろ、毎年結果を出すしかないのので、牛久市としては今回英語とその環境教育、あとはカップ塾の成果を国に報告をして、委託事業なんですが、上限200万円の委託金をいただいて実施をします。実際は、その200万円だけでできる事業ではありませんで、英語の場合にはALTをお願いするという事で、これが月30万円から35万円かかりますので、市費として市の単費、市の予算もつけるしかないということになります。これは、10月の補正で議会に上程する予定となっております。

<p>教育長</p>	<p>県南で一番小さな中学校は、河内町の金江津中で生徒数76名です。しかし、再来年になると、河内町では小中学校5校をまとめて1つにしてしまうので金江津中学校が無くなってしまい、牛久二中が県南で一番小さな中学校になってしまいます。</p> <p>また、第一幼稚園の保護者の方が奥野学園構想の話聞いて、通学させたいと言っているんですが、特認校にしないと通学できません。我々は、当初3年先の結果を見て判断しようと思っていましたが、そういう話も出てきたものですからどのタイミングで進めたらよいのかなと思っています。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>このモデルに上がっているところは、どこか視察とかは行っているのですか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>これから行く予定です。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>いただいた資料の学校は、どちらかというと学校を取り払って3つの学校のどれに行ってもいいみたいな形ですよ。でも、奥野学園というのは、奥野に行くことはよしと、ほかの学校の移動はないよということ、そこが多分大きく違うと思うので、それも含めてどのぐらいの需要がこの学校、各々の学校もあるのでしょうか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>子供が少ないところには、牛久が今考えているような特認校制度は結構多いんです。その特定の学校にだけ通学を認めるような。</p>
<p>教育長</p>	<p>現実問題として、牛久二中に行かないでほかの中学校に行きたいという児童が何人も出ているんです。それは部活動の問題が大きいのです。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>そうですね。だから、二中の生徒数をもっと増えれば二中の部活動も活性化されるわけですからね。</p>
<p>宮原委員</p>	<p>特認校のその定数というかこれだけいなければいけないとか、何かそういう条件は付いておりますか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>何もないです。市の教育委員会で決められます。実際、制度自体は要綱等で、教育委員会の要綱でつくられていますので、やろうと思えば。</p>
<p>石井職務代理者</p>	<p>登下校の安全について保護者が責任を持つというのは…。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>そうですね、保護者となるとちょっとハードルが高くなるかな。</p>
<p>宮原委員</p>	<p>200万円の予算がありますけれども、そのほかにまだ予算がかかるのか、</p>

	<p>予算立てとかその辺も、ここで決まってからそれに取りかかるのか、それとももう粗々予算を考えているのでしょうか。</p>
教育部長	<p>10月議会に補正予算を出しています。</p>
後藤委員長	<p>200万円の補助金ですが、額的にはどうですか。</p>
教育次長	<p>年間200万円ですが、今年は半年で1年分もらえてしまいます。半年で結果は出ないと思いますけれども。</p>
後藤委員長	<p>報告の義務がある一方、背伸びしてもしょうがないので、現実的にでき、なおかつ成果が上がりそうなところを狙う。</p>
教育次長	<p>補助事業と違い委託されていますので、普通の業者と同じで、結果を求められます。</p>
芦田委員	<p>一つ思ったのは、今日学校訪問をしても、二小も牛久小も外国語のクラスがありますよね。だから、その外国籍の子を全員最初の1年間とか2年間とか普通のクラスに戻して混ぜても大丈夫だよというところまで、奥野小、二中で1つにまとめてしまうというのはどうでしょうか。</p> <p>通学の手段が、バスというお話があったので、であれば牛久に転入されてきて、学校に入る手続をされた段階で、日本語を習得するまでは、まずは奥野学園で活動してくださいというふうに促すと、そこにいろいろな言語のスクールアシスタントも入れて1つにまとめられて、なおかつ学校の雰囲気もインターナショナル的なふうに、ただまとめるのはすごく大変だと思うんですけども、多国籍になるので。</p>
指導課長	<p>現在、小学生は日本語指導を必要としているのが市内で19名、中学校が3名、後から増えましたので4名でしょうか。</p>
芦田委員	<p>子供は割と順応してしまうと思うんですよ、そういう環境で。うちの子たちが実際そういう環境で1年間学んできて、やっぱり1つのクラスに兄弟も全員1クラスに収まって、一から言語を教わるといって、半年もすると慣れてくるので、体育とか音楽とかそういうところから同じ学年のクラスに浸透させていって、1年から1年半ぐらいで大体もう日本学校だったら日本語を習得したから、後はじゃあお家の近くの学校に行っても大丈夫ですよというのを。</p>
教育長	<p>もう1回ぐらい審議する時間ありますか。</p>
教育次長	<p>ずっと継続していきたいと思います。</p>

	<p>こちら10月から実際に動き出しますので、毎月報告をさせていただいて、いろいろご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。</p>
芦田委員	<p>そうですね、いろいろな方法を考えて。</p>
教育次長	<p>ぜひ、そういったご意見ございましたら、次回またお伺いしたいと思います。</p>
後藤委員長	<p>特に今日のところで何か結論にまでというものでもないのでしょうか。</p>
教育次長	<p>ないです。</p>
後藤委員長	<p>こちらについては、何回か協議するということで継続協議とします。</p>
後藤委員長	<p>それでは、以上で本日の議事及び協議は終了とさせていただきます。</p>
後藤委員長	<p>続いて、各課からお願いします。</p>
教育部長	<p>先週末、金曜の早朝から大雨が降りまして、すごい被害が出ていることはご承知のとおりでありますけれども、牛久市でもその災害派遣ということで、金曜日からつくばみらい市のほうに職員のほうを災害派遣という形で、男性職員4名と保健師4名、こちらをつくばみらい市の避難所のほうに派遣をして、保健師のほうは健康チェック、それから男性職員のほうはいろいろな災害物資等の運搬等を行っているということで報告がありました。一応つくばみらい市の片庭市長から、直接池辺市長に要請があったということで、今週の金曜日までということで一旦班編成をしまして、災害派遣をしております。</p> <p>それから、常総市のほうですが、こちらはなかなか連絡がつかないという状況でして、実際金曜日1日連絡をとっていたのですが、なかなか連絡がつかないような状況で、ようやく夕方になって連絡がついたというようなことがありまして、常総市のほうからは、石灰と何か物資が欲しいということで要請があり、土曜日に市民部長以下7名で運搬をしたということでございます。</p> <p>そのほか、牛久市の社会福祉協議会のほうも一緒に、こちらは社会福祉協議会同士のネットワークの中でいろいろな物資の要請がありまして、常総市の豊田小学校、こちら避難所になっていまして、約40名ぐらいの方が避難されているそうですけれども、歯ブラシと歯磨き粉とか、トイレトペーパーですとか、本当にお風呂に入れなかったり歯磨きができないと、非常に歯ブラシとかは喜ばれたということで、必要な物資、絆創膏ですとか虫さされだとか、割と気が付きづらい部分も直接行った職員が聞き取りを行いまして、用意をして支援物資を運んだというふうな状況がございまして、引き続き、何か要請があればすぐ行けるような体制をとるとということで、市一丸となって援助をしていくということで、災害対策本部のほうでもお話をしているようなところでござい</p>

<p>教育次長</p>	<p>す。とりあえず、今回は鬼怒川の決壊の災害に関しては、現在の牛久市の対応としては以上のようなところでございます。</p> <p>それでは私から、先ほどお話をさせていただきました少子化・人口の取り組みですけれども、それに少し関連するんですが、やはり同じく文科省で学校を核とした地域力強化プランというのがありまして、こちらも補助を受けまして、教育委員会で、実は今日皆様にお手元にコミュニティ・スクールについてというものをお配りさせていただいたんですが、この導入を進めてほしいということで、今、国のほうからお話が来ています。</p>
<p>教育次長</p>	<p>今回、元ひたち野うしく小学校の中島校長先生に、内容について今日紹介ということで、コミュニティ・スクールについて簡単にお話をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>児童クラブ課中島職員</p>	<p>次長からお話がありましたように、コミュニティ・スクールについてご説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料の「コミュニティ・スクールって何」というものをご覧ください。</p> <p>1ページをお開きいただきますと、コミュニティ・スクールって何ということと書かれておりますので、そちらのほうを見ていただきたいと思います。</p> <p>まず、一番下のほうの欄を見ていただきますと、子供の教育環境や学校、子供が抱える課題が本当にさまざまにあることが分かります。もう多種多様でありますし、その解決の欄には、学校、家庭、地域が総がかりで取り組むという認識を持たなければなりませんし、また学校を核とした地域づくりを一層推進していく必要があると、最近強く言われております。その有効な制度の一つとして、コミュニティ・スクールがあります。この資料で示されている、この真ん中にあるのがコミュニティ・スクールの図でございます。</p> <p>コミュニティ・スクールは、学校に学校運営協議会を設置するということが一つ条件になります。保護者、地域の方、校長その他学校を支援するさまざまな方々を委員として、学校や子供の課題を共有し、学校の運営に地域の人々も参画し、地域と一体となって子供を育み、豊かな学びを作っていくものでございます。</p> <p>裏から2番目になりますけれども、こちらのほうにコミュニティ・スクール導入促進事業についての説明が書かれておりますけれども、牛久市ではこのコミュニティ・スクールを推進していくために、文科省の補助事業でありますコミュニティ・スクール導入促進事業を活用いたしまして、コミュニティ・スクールの導入を促進していきたいというふうに考え、補助金の申請をいたしました。この事業は、立ち上がるまで導入期間を2年いただけます。また、立ち上がってからは、それを充実させるということで2年の期間を、この補助金をいただいて進めることができます。今年度は、奥野小学校1校のみを研究校に指</p>

定させていただきまして、学校運営協議会の運用方法や関係する他機関、組織との連携のあり方などについて検討し、実際に学校運営協議会が立ち上がりましたときに円滑な運営が図られるように、進めてまいりたいというふうに考えております。

学校数につきましては、今年度は1校でございますが、少しずつ学校数が増えていくことが文科省では期待されているなというふうに私は感じています。牛久市の場合には、もう既に土曜カップ塾、放課後カップ塾、または学校のさまざまな教育活動に地域の方々のご支援をいただいて、豊かな教育活動が行われ、学んでおりますけれども、さらにこのコミュニティ・スクールを実施することにより、それらがより充実するのではないかとというふうに期待しているところです。そのためには、コーディネーターをぜひとも育成していかなければならないのではないかとということで、その養成講座等も継続しているところです

途中の部分は、説明も省かせていただきましたので、ごらんいただければというふうに思います。

以上、簡単ではございますが、ご報告させていただきました。

各課より報告

文化芸術課

中村絃子コンサート中止の件について

文化祭について

文化公演事業について

児童クラブ課

放課後カップ塾、土曜カップ塾について

指導課

全国学力・学習状況調査について

教育総務課

教育委員研修について

中央図書館

図書館だよりについて

スポーツ推進課

牛久シティマラソンについて

それでは、以上で9月定例会を終了いたします。

次回の定例会は10月19日月曜日、市役所分庁舎第一会議室で13時30分での開催となります。よろしくお願いいたします。

どうもお疲れさまでございました。